

【研究テーマ：

『ハリー・ポッターと賢者の石』はなぜ世界で人気を博したのか】

タイトル：ファンタジービジネスのしかけかた あのハリー・ポッターはなぜ売れた

出版社：文庫・新書 講談社+α新書

発売日：2003/07

出版社：野上 暁,グループ M3

目次：

<あのハリー・ポッターがなぜ売れた>

- 驚異の大ベストセラーシリーズ
- メディアのマジックとトリック
- すばらしい翻訳という神話
- 悪の枢軸とハリー・ポッター
- 対決！ポケモンとハリポタ
- ハリー、没個性の主演
- RPG としてのハリポタ
- マンガの中のファンタジー
- 源流は日本のサブカルだった！
- ファンタジービジネス成功の法則

研究テーマ概要：

2001年にワーナー・ブラザーズが制作した映画『ハリー・ポッターと賢者の石』は公開と共に瞬く間にヒットした。それは日本の興行収入ランキングと共に世界興行収入ランキングでも確認することができる。ここで私は一つ疑問に思ったことがある。なぜ一つの映画が文化も歴史も異なる世界各国で認められたのだろうか。この原因を探るべく私は研究を行っている。

本の内容：

ファンタジーをキーワードに、世界を魅了した『ハリー・ポッター』の成功の秘密を様々な角度から分析している。整理していくと大きく6つにわかれていることがわかった。

1. メディアの戦略「手作りのメディア戦略」

2. 作家、翻訳家にまつわる物語が重要な要素になった
3. 作品世界におけるオリジナリティの排除
4. 予めシリーズ化が構想されていた
5. メディアミックスによりメディアを超えた市場拡大
6. キャラクターのビジュアル化

この6点が大きく比重しているという。

この文献の活かし方：

自分の研究に完全に沿った本であったため非常に読みやすく、また勉強になった。大きく6点にまとめてあるとも書かれてあった。しかし、本当にこれだけなのか。勿論作品以外の影響も大きいとは思いますがそれだけではないはずである。この本に書いてあったことはあくまでも一つの例として受けとめている。